



みみより

85

発行日/2026年6月24日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

宮本 幸

夏至を過ぎ、梅雨明けも近づくころとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

この時期は、沖縄慰霊の日をはじめ、平和について思いを巡らせる機会が多くなります。私たちが当たり前のように過ごしている暮らしも、多くの先人たちの努力と平和への願いの上に成り立っています。

一方、近頃は物価の上昇や、社会情勢の変化など、暮らしへの不安を感じる話題が少なくありません。世界では緊張が高まる出来事が続き、日本でもさまざまな法整備が進められていますが、今本当に大切にすべきものは何か、その優先順位を考えさせられます。

まずは私たちの暮らしや福祉、権利を支える土台を大切にしながら、日々の生活が送れるよう願わずにはいられません。これからも互いを思いやる心を大切にして、平和な社会の中で戦後 100 年を迎えられることを願っています。

みなさまも、どうぞこれからの暑さに気をつけてお過ごしください。



開催事業報告

《みみサロン》



去る 5 月 16 日(土)の午後、年度最初の「みみサロン」を堺市立健康福祉プラザ 4 階のクラフトルームで開催しました。参加者は 24 名にのぼり、やや手狭な会場での実施に不安もありましたが、参加者同士が席を譲り合うなど協力的な雰囲気のもと、無事に開催することができました。

当日は、天気予報に詳しいウェザーアナリストの末吉 正朋氏を講師に迎え、「知っているかな? 天気予報の不思議」をテーマに講演していただきました。天気図の読み方や予報が作られる仕組み、気象用語の意味など、普段、何気なく耳にしている情報の裏側を分かりやすく解説していただき、クイズ形式を交えた内容で、参加者は積極的に手を挙げたり、隣同士で答えを相談したりと、大いに盛り上がりました。

「知っていたつもりだったが、そこまで詳しくは知らなかった」、「へえー、そうなんや」、「知らなかった!」といった声が多くあり、参加者にとって新たな発見の多いサロンとなったようです。特に、天気予報がどのように精度を高めてきたのか、また予報士が日々どのような情報を基に判断しているのかといった話には、驚きと関心の声が上がりました。

講演の終盤には、地球温暖化の影響により、日本のみならず世界各地で猛暑や洪水などの災害が増えている現状にも触れられました。参加者からは「怖い話だけど、知っておくことが大事」、「身近な問題として考えないといけない」といった感想も聞かれました。気象の知識だけでなく、環境問題への意識を高める機会ともなり、充実したサロンとなりました。

《きこえのセミナー》

5月30日(土)に「きこえのセミナー」を開催し、14名の方の参加がありました。講師には、(株)アイシンさんのYYSystem(ワイワイシステム)事業推進グループ、保坂さんと古澤さんをお迎えし、音声文字にかえる『YY文字起こし』アプリの魅力についてお話いただきました。

このアプリはもともと、社内のきこえない・きこえにくい仲間のために、発話や環境音を可視化するために開発されました。コロナ禍でオンライン化が進み、さらにマスク越しでは相手の話していることがわからない仲間の困りごとに応えるため、開発が進められてきました。文字で情報を伝えるだけでなく、笑い声や拍手は絵文字で表示され、見やすだけでなく、騒音環境下でも変換率、認識精度が高く、「必要な時に必要な情報を正しく入手できる」支援ツールをめざし、日々、進化しています。その場だけでなく、履歴から、後で見返すこともでき、これからも更なる活用の幅を広げていくことが期待されます。

今回、スマホアプリだけでなく、メガネ型や腕時計型の機器もご紹介いただき、SF映画のような世界を体験できました。多くの方に体験していただけるよう、アイシンさんのご厚意でメガネ型の機器をセンターに貸していただけたこと



ですので、体験されたい方は、ぜひお声かけください。参加者のみなさんからも「詳しく説明していただけてわかりやすかった」、「とても感動しました」と喜んでいただきました。保坂さん・古澤さん、愛知県からわざわざお越しいただき、一人ひとりに丁寧に目線を合わせ、ご対応いただきありがとうございました。

《もじサロン(筆談会・わいわいおしゃべり会)》



今回のもじサロンの参加者は3名。要約筆記の利用時についての不安が話題に上りました。必要性を感じつつも、利用にあたってはなかなか勇気が出ない方もおられるかもしれません。「文字通訳をしてくれた紙はもらえないの?」、「間違っ

て伝わることはない? 本当に正確なの?」、「文章を読んだけど意味が分からなかった時はどうしたらいいの?」、「要約筆記の人に私の代わりに伝えてもらうことはできないの?」

というような疑問があるようです。最も多い派遣先は病院です。厳しい試験をクリアし、職業倫理を熟知した要約筆記者といえども、初対面の赤の他人にとってもプライベートな情報である、病気や治療方法の話

知っておこう! 新しい防災・気象情報

今年は6月早々に台風が上陸し、各地に被害をもたらしました。大雨や暑さによる災害が増えています。気象庁は、危険を早く知らせるために新しい情報を発表しています。命を守るために、最新の防災気象情報を知っておきましょう。

○線状降水帯(せんじょうこうすいたい)予測情報

線状降水帯とは、同じ場所で強い雨が長時間続く現象です。近年は、発生する可能性を半日ほど前から知らせるようになりました。「大雨になってから知る」のではなく、「大雨になる前に備える」ための情報です。スマートフォンやテレビで確認し、早めの行動につなげましょう。



○ 警戒レベル

災害の危険度を 1～5 の数字で示す仕組みです。

5	災害発生 または切迫	
4	災害の おそれ高い	
3	災害の おそれあり	
2	気象状況 悪化	
1	今後、気象状況 悪化のおそれ	

特に覚えておきたいのは、「警戒レベル4のうちに必ず避難する」ということです。レベル5は、すでに災害が発生している可能性があります。

○ 情報は「見る」習慣を

防災無線やサイレンは聞こえなくても、情報はスマートフォンやテレビの字幕・データ放送などで確認できます。「まだ大丈夫」と思わず、情報を見て早めに行動することが、自分や家族の命を守ることにつながります。

<p>① 情報を確認</p>  <p>スマートフォンの「緊急速報メール」、テレビの「データ放送(dボタン)」などを活用しましょう。</p>	<p>② ハザードマップを確認</p>  <p>堺市公式 LINE やホームページで確認できます。</p>	<p>③ 早めに避難!</p>  <p>どの道を通れば安全に行けるか 平时に確認しておきましょう。</p>
--	--	--

気象庁の「キキクル」、テレビの「データ放送」、大阪府の「おおさか防災ネットメールサービス」、堺市の「災害情報ファックス」など、情報収集にはいろいろな方法があります。堺市の公式 LINE では、これらの情報をスマートフォンで確認できます。登録方法や情報の見方がわからない方は、センターにお越しください。職員がサポートします。来所の際は、ご予約をお願いいたします。

○ 熱中症警戒アラート

危険な暑さが予想されるときに発表されます。

名称	意味とポイント
猛暑日	日中の最高気温が 35℃以上の日。 非常に暑く、熱中症の危険が高くなる。
夏日	最高気温が 25℃以上の日。
夜間の熱中症に注意	夜も気温が下がらず、熱中症の危険がある。

熱中症を防ぐポイント

<p>こまめに水分をとる</p> 	<p>エアコンや扇風機を上手に使う</p> 	<p>外出は暑い時間をさける</p> 	<p>体調が悪いときは無理をしない</p> 
--	--	--	---

手話奉仕員・通訳者養成講座

入門・通訳者養成が始まりました！

入門課程は定員を大幅に超えてのお申し込みがあり、抽選の結果 23 名、基本課程は受講試験に合格された 21 名と再受講の方、合わせて 24 名でスタートしました。手話通訳者をめざして、一緒に頑張っていきましょう。講師・職員もサポートします！

要約筆記者養成講座

要約筆記者養成講座開講！

今年度の養成講座は、選考試験を経て 10 名の方が受講されています。和気あいあいとした交流会を終え、本格的な講義が始まっています。修了式の 12 月 19 日までは長丁場ですが、皆さん、仲良く最後まで頑張りましょう♪

センター(聴覚)の行事

※行事はすべて事前申込が必要です。

7月 9日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

7月 10日(金) 13:30~16:30

補聴器相談

7月 18日(土) 14:00~16:00

みみサロン

講演「柏木 智之の人生」

7月 25日(土) 14:00~16:00

保護者学習会+中高生セミナー

「教えて！先輩」

8月 13日(木) 14:00~15:30

もじサロン(筆談会)

8月 20日(木)から「難聴者のためのコミュニケーション教室」が始まります。

申込受付は 7 月 1 日からです！



ビデオライブラリーのおすすめ

「silent 11」

紬を好きになるほど、きこえない現実がつかなくなる想。想はその思いを紬に伝えます。紬は自分の気持ちを素直にぶつけますが、想にはなかなか響きません。互いの思いがすれ違う 2 人は、最後の話し合いのため高校の教室で待ち合わせをします。高校卒業後、変わってしまったこと、変わらずにあるもの。2 人は素直に自分の思いを語りました。

「望み」

建築士の石川一登(かずと)は妻と高校 1 年の規士(ただし)、中学 3 年の娘・雅(みやび)と幸せに暮らしていました。ところが、けがでサッカーを辞めた規士が無断外泊したまま姿を消し、同級生殺害の容疑をかけられました。家族はマスコミや警察に追いつめられてしまいます。規士は加害者なのでしょうか。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- ・新規合同研修
- ・要約筆記者ステップアップ研修 PC・手書き
- ・新規手話実技研修 ・手話通訳者実技研修

- ・登録者合同研修 6/25 「言語通訳者のあり方を考える」
- ・要約筆記者実践研修 7/10 「倫理綱領について」
- ・手話通訳者実践研修 7/22 「派遣での困りごと」
- ・要約筆記者ステップアップ研修 6/27・7/4

センター(聴覚)の情報はこちらから



Instagram



YouTube



LINE

きこえる方の LINE 登録はご遠慮ください

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	231件	5件	11件	3件	4人	22本
	派遣人数	242人	9人	15人	12人	新規登録者：0人	
5月	派遣数	212件	26件	13件	5件	4人	17本
	派遣人数	224人	64人	20人	14人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

